

みちしるべ

みずからのために道しるべを置きみずからのために標柱をたてよ (エレミヤ31:21)

人になれ 奉仕せよ

聖句： 神は愛です。 (ヨハネの手紙Ⅰ 4章16節) 今月の聖書のみことばです。年長組は暗唱します。

保育目標：	0歳児	・心地よい環境の中で安心して過ごす。
	1歳児	・安心して保育者と一緒に遊ぶ。
	2歳児	・保育者やお友達と好きな遊びを見つける。
	3歳児	・よろこんで登園する。
	4歳児	・よろこんで登園する。 ・自分のやりたいことを見つけて遊ぶ。
	5歳児	・進級したことを喜び新しい環境に慣れる。 ・友達と遊びを楽しむ。

ご入園、ご進級おめでとうございます。

神さまの恵みの内に2019年度がスタートできますことを感謝いたします。

神さまが招いてくださった幼な子たちを喜んでお迎えするとともに、六浦こども園に連なるひとつひとつのご家庭の上に神さまの祝福が豊かにありますようにと心からお祈り申し上げます。

子どもたちは家庭から離れた初めての場所で、自分づくりと自立に向けた一歩を踏み出そうとしています。はじめての「社会」であるこども園で、喜んで自分らしさが発揮できるように、また仲間とつながって、「一緒」を味わい、ぶつかり合う中で「かかわる力」をつけていけるように、子どもたちの心もちを大切にしながら、必要な支えや助けを行っていきたいと思います。

もうすでに長時間保育のお子さんたちの生活が始まっています。はじめての場所、はじめての人たちの中で子どもたちはその子なりの精一杯の表しをしています。思いに寄り添いながら、あせらずゆっくり、一人ひとりの成長の歩幅に合わせて歩いていきましょう。子どもたちにはもともと「育つ力」が備えられています。子ども自身の伸びようとする力に、私たち大人がどう寄り添っていくのか、何が出来るのかをご一緒に考え合いながら歩みをともしていただきますようお願いいたします。

また、子どもたちは神さまからそれぞれ異なる贈り物をいただいています。神さまが授けてくださった贈り物(よいところ)をご一緒に見つけ、「あなたの〇〇がいいね。」「大好き」と伝えていきましょう。

「あなたはあなたでいい」「そのままのあなたが好き」と大好きな人に言ってもらえたなら、子どもは安心して自分を発揮して伸びていけます。相田みつをさんの言葉に佐々木正美先生(児童精神科医)がコメントをつけた「育てたように子は育つ」の本の中に、『欠点まるがかえで信ずる』という言葉があります。佐々木先生は、この言葉に次のようにコメントをしています。「これは子どもを育てるために必要な最高の愛、最も自然な愛のある態度である。子どもが最も安心して成長していける親や教師や大人のありようである。子どもに最も自信を与えることができる大人の姿である。」とおっしゃっています。認めるか否かではなく、その子の存在そのものをまるごと信じる私たちの姿勢でありたいと思います。一人ひとりが違うからこそかけがえない存在です。どの人もまるごと受けとめられ、愛されていることを実感できるような園の生活でありたいと願っています。そのためにはまず、その子の精一杯な表しを受けとめ、言葉にならない思いを汲むことに心を尽くしながら、一人ひとりとの関係づくりに全力を注いでいきたいと考えています。目には見えない人と人との信頼関係が、子どものはじめの一歩を確かなものにします。

親御さんにとりましては見えない園での生活が気がかりでしょう。しかしまずは親から離れた場での子どもの成長を信じてお任せいただきたいと思います。ご心配なことは小さなことでもお話しください。また園で起こったことにつきましては必ず、まず園にお聞きいただきますようお願いいたします。出来る限り、直接のコミュニケーションを大切にしていきたいと思います。バス通園の方々も可能なときにはぜひ足をお運びください。子どもの自ら育つ力を信じて、命を与えて育ててくださる神さまに委ねながら、子どもたちに関わることを通して私たちも成長させていただきましょう。

こども園園長 根津美英子

